

企業ニュース JSR

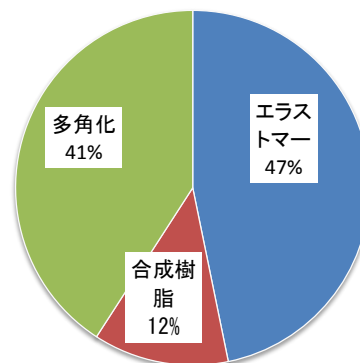
(東証1部：4185) <http://www.jsr.co.jp/>

作成者：兵藤三郎

素材系化学メーカー

1957年、日本合成ゴムとして、合成ゴムの国産化を目指し制定された「合成ゴム製造事業特別措置法」の施行により設立された。合成ゴムの製造からエマルジョンや合成樹脂などの石油化学系事業を展開するとともに、高分子技術を活用し半導体材料などファイン事業にも進出した。1997年、創業40周年を期して現在の社名に変更した。創業事業の合成ゴムはSSBR（溶液重合スチレンブタジエンゴム）などを製造。SSBRは加工性・動的特性に優れ主に低燃費・高性能タイヤに用いられる。半導体材料はリソグラフィ工程で用いられるフォトレジストなどを製造、先端技術であるArF（193nm波長光源）液浸露光用などのシェアが拡大している模様。

◇18.3期セグメント別売上収益



(出所) JSR資料よりCAM作成

全セグメントで増収、収益力も向上

19.3期・第3四半期累計（4-12月）業績は売上収益が3,765億円、前年同期比20%増、営業利益が379億円、同2%増。エラストマー事業が減益となるも、他のセグメントの大幅増益でカバーした。エラストマー事業では前年の市況高騰により急拡大した売買スプレッドが、今期は反動により縮小した影響を受けた。デジタルソリューションでは、半導体市場の好調を背景に増収増益となった。

19.3期の会社計画は売上収益が4,900億円、前期比16%増、営業利益が480億円、同10%増。第3四半期までの営業利益は対計画比79%と高い進捗率だが、2018年4月25日に公表した業績予想を据え置いた。第4四半期はブタジエン価格下落によるエラストマー事業の営業利益減や、半導体材料において通常の季節性に加え、1部半導体メーカーでの生産調整なども見込んだ。またライフサイエンスでは18年6月に新連結したCrown社ののれん資産が一部償却される可能性なども織り込んだ保守的な計画で上振れ余地は大きいと考える。

【株価動向・投資判断】

市況変動などの影響は受けるが、全セグメントで収益力が向上していることを評価したい。業績の上振れ期待がある銘柄。

<4185 JSR 業績:IFRS>

[今期予想の配当金は発行会社予想]

	売上収益	営業利益	税引前利益	当期利益	1株利益	1株配当
	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	円	円
17.3	388,455 (-)	35,943 (-)	38,294 (-)	30,243 (-)	135.2	50.00
18.3	421,930 (9)	43,569 (21)	46,206 (21)	33,230 (10)	149.3	50.00
19.3 予	490,000 (16)	48,000 (10)	49,000 (6)	33,500 (1)	152.0	60.00

(注) 18.3期よりIFRSを適用している。17.3期の財務数字はそれに準拠して表示しているが伸び率は非算出。



【主要株価指標】 (売買単位：100株)	
株価(2019/2/4)	1,798 円
昨年来高値(高値日)	2,758 円(18/1/30)
同 安値(安値日)	1,526 円(19/1/4)
予想PER(19.3予)	11.8 倍
1株株主資本(PBR算出用)	1,805.9 円
PBR	1.00 倍
予想配当利回り	3.34 %
(1株当たり配当金60.00円)	
ROE(18.3)	8.8 %
発行済み株式数	22,613 万株